平成30年度公立高等学校入学者選抜における

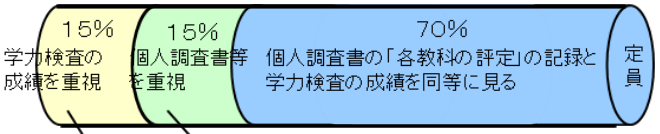
学 校 裁 量 に つ い て の 実 施 予 定 一 覧 表

【 表 の 見 方 】

数字が書かれている学科で推薦入試を行います。数字は募集人員のうち、推薦による入学者の範囲の程度を％で示しています。「＊」を付している数字は、募集人員から連携型入学者選抜による合格内定者数を減じた数のうち、推薦による入学者の範囲の程度を％で示しています。

英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文、自己アピール文の提出のうち、学校裁量で行う項目について○を記入しています。

一般入試における選抜



学区	学校名	学科名	推薦入試						一般入試												
			入学枠（%程度）	面接以外に実施する項目					学力検査等の実施							複数尺度による選抜で重視する項目					
									学力検査		実技	作文	面接			学力検査の成績を重視	個人調査書等を重視				
													全員		過年度卒			個人調査書			
				英語のリスニングテスト	英語による問答	実技	作文	自己アピール文の提出	裁量問題校	傾斜配点の教科（倍率）			個人	集団	個人	学力：評定	評定：学力	特別活動の記録	総合所見等	実技等	

普通科以外の学科については、道内全域です。

学校名・学科名の表記は、6月に発表の公立高等学校配置計画案に基づいています。

傾斜をかける教科名とその倍率を表しています。
（例） 数・理・英(1.5)
数学、理科、英語の3教科について、その得点をそれぞれ1.5倍にして各90点満点となります。

実施する内容に○を記入してあります。「過年度卒」の○は、過年度卒業者のみを対象とした面接の実施を表しています。

学力検査の成績と個人調査書の「各教科の評定」の記録との重視の比率を表します。

個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績との重視の比率を表します。

個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって重視する項目に○を記入してあります。「総合所見等」とは「総合所見及び指導上参考となる諸事項」を表しています。

選抜に当たって、面接や実技、作文などを重視する場合に、重視する内容を記入してあります。

学区	学校名	学科名	推薦入試						一般入試												
			入学枠（%程度）	面接以外に実施する項目					学力検査等の実施							複数尺度による選抜で重視する項目					
									学力検査		実技	作文	面接			学力検査の成績を重視	個人調査書等を重視				
													全員		過年度卒			個人調査書			
				英語のリスニングテスト	英語による問答	実技	作文	自己アピール文の提出	裁量問題校	傾斜配点の教科（倍率）			個人	集団	個人	学力：評定	評定：学力	特別活動の記録	総合所見等	実技等	
上川	富良野緑峰	園芸科学	100										○			8:2	6:4	○	○	面接	
		電気システム	50										○			8:2	6:4	○	○	面接	
		流通経済	50										○			8:2	6:4	○	○	面接	
		情報ビジネス	50										○			8:2	6:4	○	○	面接	